

# 第30回全事研セミナー アンケート集計結果

## 1. 調査対象・回答数

対象: 全会員

方法: Microsoft Forms

期間: 令和6年2月16日(金)～令和6年2月29日(木)

回答数: 1,670件

## 2. 結果概要

- ・ 1,670件中、「現地で参加」が245件、「Web配信視聴」が208件、「参加も視聴もしていない」が1,217件であり、参加したのは回答者の27.2%であった。
- ・ 参加動機では、「講義Ⅱ」への関心が最も高く240件であった。次いで「講義Ⅲ」への関心が高く228件であった。また、「Webで視聴できるため」が123件選択されていた。
- ・ 講義の理解度では、5段階評価の平均値は3.52～3.97、全講義では3.78であった。Web配信を視聴した方と現地で参加した方の差は講義Ⅱが最大で、0.09となった。
- ・ セミナーの満足度では、5段階評価の平均値が3.93であった。経験年数別に見ると、16～20年目が最も満足度が高く、平均値が4.1であった。
- ・ 学校財務に関する項目では、「③教職員等から要望を聴取し予算執行に反映している」「⑪学校が保有する施設や備品などの点検を行い把握している」については90%以上の方が取組を行っている」と回答していた。一方で、「⑭地域住民等に対する情報共有や意見聴取などを行っている」については、取組を行っている」と回答したのは24.7%であり、校内での取組と地域を巻き込んだ取組に大きな差があることが分かった。
- ・ 学校事務実践事例データベースについての項目では、データベースを見たことがないという回答が66.5%であり、閲覧方法を知らない」と回答した方が34.0%であった。一方で、「実践事例に応募したことがある」と回答した方の90%以上が「実践事例への応募が自身の学びや新たな実践につながった」と回答しており、事務職員の育成に効果的な取組であることが分かった。
- ・ 御意見、御感想からは、参集開催に対する肯定的評価やWeb配信に対するニーズの高さが伺えるが、講義時間の設定や配信方法に対する課題もあがっていた。

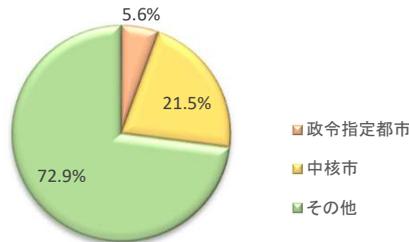
1-1 勤務地(都道府県)

都道府県	回答数	都道府県	回答数	都道府県	回答数	都道府県	回答数
北海道	1	東京都	1	滋賀県	4	香川県	5
青森県	14	神奈川県	63	京都府	3	愛媛県	141
岩手県	11	新潟県	39	大阪府	2	高知県	3
宮城県	7	富山県	66	兵庫県	48	福岡県	10
秋田県	101	石川県	9	奈良県	8	佐賀県	42
山形県	14	福井県	121	和歌山県	55	長崎県	15
福島県	18	山梨県	73	鳥取県	2	熊本県	9
茨城県	13	長野県	5	島根県	18	大分県	1
栃木県	7	岐阜県	11	岡山県	94	宮崎県	7
群馬県	27	静岡県	24	広島県	20	鹿児島県	2
埼玉県	128	愛知県	256	山口県	6	沖縄県	6
千葉県	17	三重県	136	徳島県	7	合計	1,670

1-2 勤務先の状況(所在地)

区分	回答数	構成比
政令指定都市	93	5.6%
中核市	359	21.5%
その他	1,218	72.9%
合計	1,670	100%

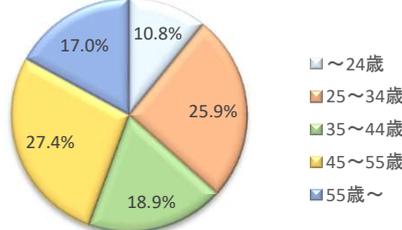
1-2 勤務先の状況(所在地)n=1,670



1-3 年齢(R5.4.1現在)

年齢	回答数	構成比
～24歳	180	10.8%
25～34歳	432	25.9%
35～44歳	316	18.9%
45～55歳	458	27.4%
55歳～	284	17.0%
合計	1,670	100%

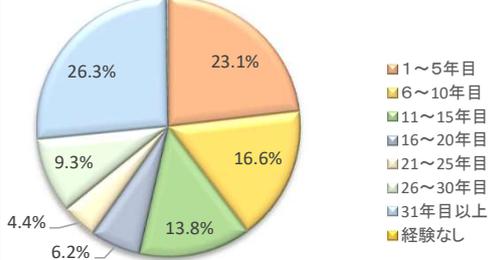
1-3 年齢(R5.4.1現在)n=1,670



1-4 学校事務職員経験年数(R5.4.1現在)

経験年数	回答数	構成比
1～5年目	386	23.1%
6～10年目	278	16.6%
11～15年目	230	13.8%
16～20年目	103	6.2%
21～25年目	73	4.4%
26～30年目	156	9.3%
31年目以上	440	26.3%
経験なし	4	0.2%
合計	1,670	100%

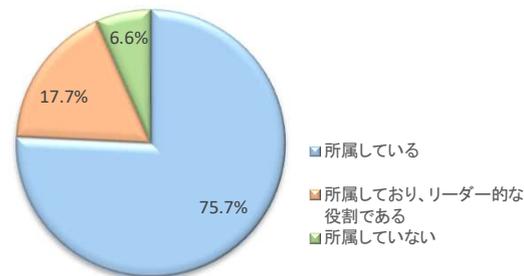
1-4 学校事務職員経験年数(R5.4.1現在)n=1,670



1-5 共同実施組織への所属等

区分	回答数	構成比
所属している	1,265	75.7%
所属しており、リーダー的な役割である	295	17.7%
所属していない	110	6.6%
合計	1,670	100%

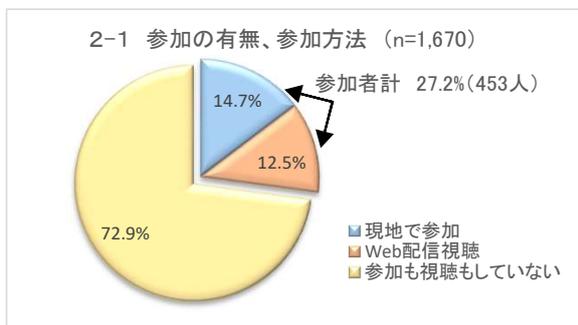
1-5 共同実施組織への所属等(n=1,670)



問2 参加の有無・参加方法について

2-1 参加の有無、参加方法

区分	回答数	構成比
現地で参加	245	14.7%
Web配信視聴	208	12.5%
参加も視聴もしていない	1,217	72.9%
合計	1,670	100%



区分	経験年数別 参加者 n=453							
	全体	1～5年目	6～10年目	11～15年目	16～20年目	21～25年目	26～30年目	31年目以上
現地参加	245	41	35	28	17	20	26	78
Web配信視聴	208	31	25	19	9	7	32	85
合計	453	72	60	47	26	27	58	163
回答者に占める割合	27.1%	18.7%	21.6%	20.4%	25.2%	37.0%	37.2%	37.0%

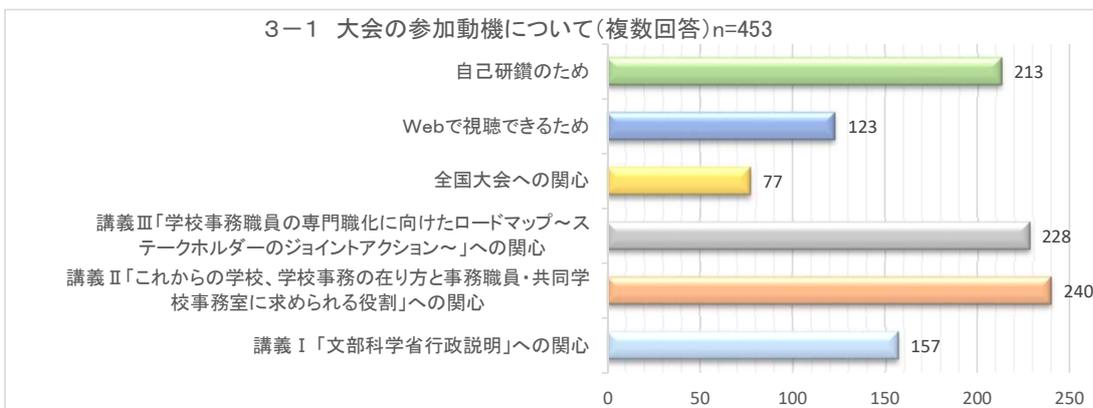
区分	年齢別 参加者 n=453					
	全体	～24歳	25～34歳	35～44歳	45～55歳	55歳～
現地参加	245	19	46	50	80	50
Web配信視聴	208	16	35	31	75	51
合計	453	35	81	81	155	101
回答者に占める割合	27.1%	19.4%	18.8%	25.6%	33.8%	35.6%

区分	共同実施組織への所属 参加者 n=453			
	全体	所属している	リーダー的役割	所属していない
現地参加	245	177	57	11
Web配信視聴	208	133	57	18
合計	453	310	114	29
回答者に占める割合	27.1%	24.5%	38.6%	26.4%

問3 セミナーへの参加について

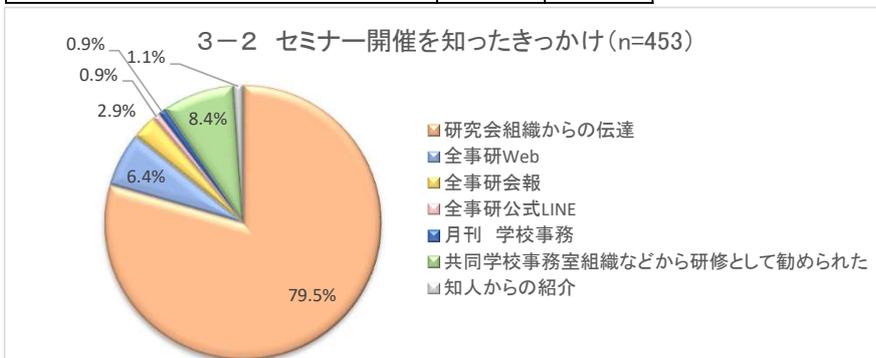
3-1 大会の参加動機について(複数回答)

区分	回答数	構成比
講義Ⅰ「文部科学省行政説明」への関心	157	34.7%
講義Ⅱ「これからの学校、学校事務の在り方と事務職員・共同学校事務室に求められる役割」への関心	240	53.0%
講義Ⅲ「学校事務職員の専門職化に向けたロードマップ～ステークホルダーのジョイントアクション～」への関心	228	50.3%
全国大会への関心	77	17.0%
Webで視聴できるため	123	27.2%
自己研鑽のため	213	47.0%



3-2 セミナー開催を知ったきっかけ

区分	回答数	構成比
研究会組織からの伝達	360	79.5%
全事研Web	29	6.4%
全事研会報	13	2.9%
全事研公式LINE	4	0.9%
月刊 学校事務	4	0.9%
共同学校事務室組織などから研修として勧められた	38	8.4%
知人からの紹介	5	1.1%
合計	453	100%



問4 講義等について

4-1 講義Ⅰ「文部科学省行政説明」について、理解を深めることができましたか？

4-2 講義Ⅱ「これからの学校、学校事務の在り方と事務職員・共同学校事務室に求められる役割」について、理解を深めることができましたか？

4-3 講義Ⅲ「学校事務職員の専門職化に向けたロードマップ～ステークホルダーのジョイントアクション～」について、理解を深めることができましたか？

問5 セミナー全体について

5-1 全事研セミナーの満足度を御回答ください

区分	評価（平均） n=453							
	全体	1～5年目	6～10年目	11～15年目	16～20年目	21～25年目	26～30年目	31年目以上
講義Ⅰ	3.52	3.51	3.32	3.45	3.31	3.63	3.74	3.55
講義Ⅱ	3.86	3.86	3.70	3.77	3.88	4.11	3.88	3.90
講義Ⅲ	3.97	3.81	3.80	3.89	3.88	4.15	4.24	4.01
全事研セミナー満足度	3.93	3.93	3.80	3.89	3.81	4.19	4.09	3.91

御意見御感想(抜粋)

ずっとお聴きしたかった藤原先生のお話や葛西先生の講義でのディスカッションで他県の方とお話しする機会があったり、とてもいい刺激的な有意義な時間を過ごすことができました。今後の業務に活かしていきたいと思う。

盛りだくさんの内容で、よかったです。藤原先生のお話はもう少ししっかりと聞きたかったので、時間ももっとあれば、と少し残念でした。オンライン参加で、学校行事があったので所々中断してしまう環境でしか参加できませんでした。久しく全国の現場には行っていないので、また現地参加をしたいと感じました。

行政説明の音声は低くて聞き取れない部分が多かった。司会ははっきり聞こえたので、次回は改善をお願いしたい。

講義Ⅱでは、グループディスカッションの時間が設けられていたが、オンライン参加のため、個人で考える時間となった。ハイブリッド開催で参加費も参集とオンライン参加で同額であるので、参加条件は同じレベルでないと、何となく疎外感を感じる。初めからわかっていたのなら、そのことを開催要項に明記するか、申し込み後にそのことが判明したなら、事前に案内するなどの配慮をしていただけたらと思いました。

遠方で会場に行くことは困難であるが、オンラインでの参加が可能であったのでありがたかった。最新の情報を得たり、有名な講師の方のお話を聞いたりすることで自身の知見を広めることができた。

内容の濃い研修会でした。文部科学省行政説明では、最近の情勢として令和の日本型学校教育を学ぶことができました。多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じる社会となるような教育を目指すこと。将来の予測が困難な時代に、自らが主体となって課題を設定し解決できる能力を培うとともに、チームワークを備えた人材を育成する場として学校の存在の重要性を改めて学びました。私自身も定型業務をこなすだけでなくより良い学校環境を整備していきたいと思いました。

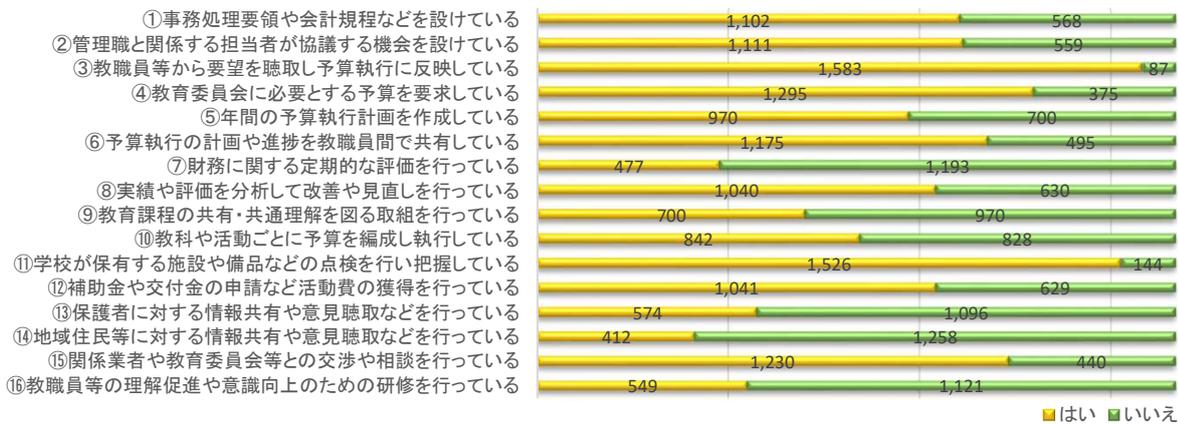
今後の研究活動として、「唯一の解答がない状況の中で、多様な考えをどのようにまとめていくのか」が問われることでしよう。そのためにも、「事務をつかさどる」の共通イメージを持たなければならないと感じました。ただし、「総務・財務に通じる～」のような文科省の言語ではなく、私たちなりの言語への変換が必要だと思っています。

実践から考える事やそのための学びは、とても大事であると思います。デジタル化ですが、グループ討議のように少数での語り合いは、必要ですね。コミュニケーション力を高めて行くことなど、人との触れ合いに欠けている時代なので、「関わる」ことを大事にしてほしいと思った。関わる事は、本当にめんどくさい事です。けれど1人では、できる範囲に限られているので、仲間って大事だね、業務だけではなくいろんな夢や思いが描ける研究会の大事さをもっと発信していきたいと、支部でもそうしたいと思いました。

14. 6-1 学校財務に関して、あなたが勤務する学校では以下の取組が行われていますか。  
(あなた自身が取り組んでいる・いないにかかわらず、学校として体制の有無をお答えください。)

区分	はい	いいえ
①事務処理要領や会計規程などを設けている	1,102	568
②管理職と関係する担当者が協議する機会を設けている	1,111	559
③教職員等から要望を聴取し予算執行に反映している	1,583	87
④教育委員会に必要とする予算を要求している	1,295	375
⑤年間の予算執行計画を作成している	970	700
⑥予算執行の計画や進捗を教職員間で共有している	1,175	495
⑦財務に関する定期的な評価を行っている	477	1,193
⑧実績や評価を分析して改善や見直しを行っている	1,040	630
⑨教育課程の共有・共通理解を図る取組を行っている	700	970
⑩教科や活動ごとに予算を編成し執行している	842	828
⑪学校が保有する施設や備品などの点検を行い把握している	1,526	144
⑫補助金や交付金の申請など活動費の獲得を行っている	1,041	629
⑬保護者に対する情報共有や意見聴取などを行っている	574	1,096
⑭地域住民等に対する情報共有や意見聴取などを行っている	412	1,258
⑮関係業者や教育委員会等との交渉や相談を行っている	1,230	440
⑯教職員等の理解促進や意識向上のための研修を行っている	549	1,121

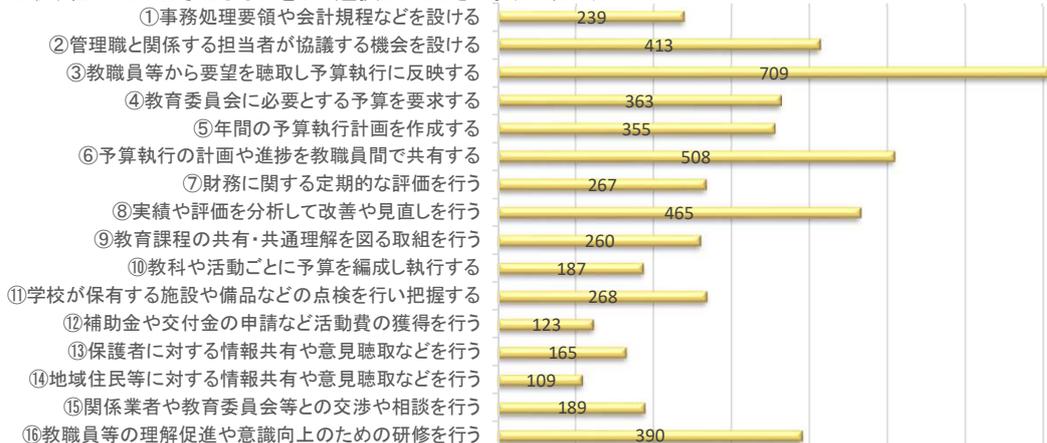
6-1 学校財務に関して、あなたが勤務する学校では以下の取組が行われていますか。(n=1,670)



6-1の選択肢のうち、現在行っている・行っていないにかかわらず、今後あなたが特に力を入れて取り組みたいと考えるものを3つ選択してください。

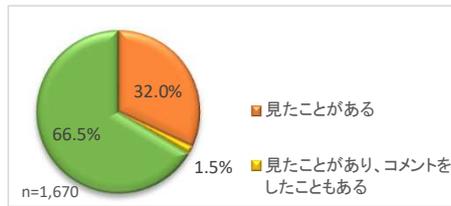
区分	回答数	構成比	最大値	最小値
①事務処理要領や会計規程などを設ける	239	14.3%		
②管理職と関係する担当者が協議する機会を設ける	413	24.7%		
③教職員等から要望を聴取し予算執行に反映する	709	42.5%		
④教育委員会に必要とする予算を要求する	363	21.7%		
⑤年間の予算執行計画を作成する	355	21.3%		
⑥予算執行の計画や進捗を教職員間で共有する	508	30.4%		
⑦財務に関する定期的な評価を行う	267	16.0%		
⑧実績や評価を分析して改善や見直しを行う	465	27.8%		
⑨教育課程の共有・共通理解を図る取組を行う	260	15.6%		
⑩教科や活動ごとに予算を編成し執行する	187	11.2%		
⑪学校が保有する施設や備品などの点検を行い把握する	268	16.0%		
⑫補助金や交付金の申請など活動費の獲得を行う	123	7.4%		
⑬保護者に対する情報共有や意見聴取などを行う	165	9.9%		
⑭地域住民等に対する情報共有や意見聴取などを行う	109	6.5%		
⑮関係業者や教育委員会等との交渉や相談を行う	189	11.3%		
⑯教職員等の理解促進や意識向上のための研修を行う	390	23.4%		

6-1の選択肢のうち、現在行っている・行っていないにかかわらず、今後あなたが特に力を入れて取り組みたいと考えるものを3つ選択してください。(n=1,670)



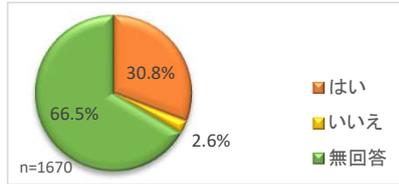
7-1 学校事務実践事例データベースについて

区分	回答数	構成比
見たことがある	534	32.0%
見たことがあり、コメントをしたこともある	25	1.5%
見たことがない	1,111	66.5%
合計	1,670	100%



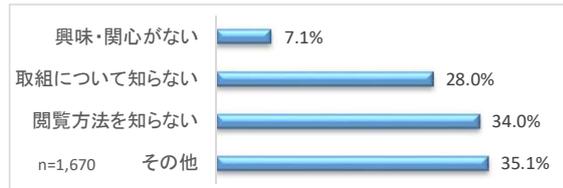
7-2 実践事例の閲覧やコメントの投稿は、自身の学びや新たな実践につながりましたか。

区分	回答数	構成比
はい	515	30.8%
いいえ	44	2.6%
無回答	1,111	66.5%
合計	1,670	100%



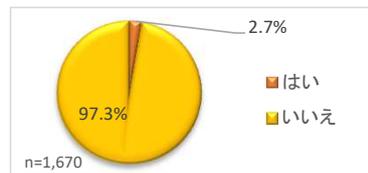
7-3 理由として当てはまるものをお選びください(複数回答)

区分	回答数	構成比
興味・関心がない	119	7.1%
取組について知らない	468	28.0%
閲覧方法を知らない	568	34.0%
その他	587	35.1%



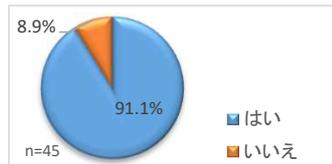
7-4 実践事例に応募したことがありますか。

区分	回答数	構成比
はい	45	2.7%
いいえ	1,625	97.3%
合計	1,670	100%



7-5 実践事例への応募は、自身の学びや新たな実践につながりましたか。

区分	回答数	構成比
はい	41	91.1%
いいえ	4	8.9%
合計	45	100%



7-6 応募のきっかけをお答えください。(複数回答)

区分	回答数	構成比
支部の取組	17	37.8%
先輩事務職員からの声掛け	12	26.7%
研修への参加(中央研修等)	6	13.3%
表彰制度	2	4.4%
その他	40	88.9%



7-7 応募しない理由として、当てはまるものをお選びください(複数回答)

区分	回答数	構成比
興味・関心がない	172	10.6%
取組について知らない	356	21.9%
応募できる実践事例がない	635	39.1%
応募に対するハードルが高い	453	27.9%
公表されたくない	92	5.7%
審査(評価)をされたくない	95	5.8%
応募方法を知らない	253	15.6%
その他	62	3.8%



8-1 全事研公式LINEの登録状況を御回答ください。

区分	回答数	構成比
登録している	376	22.5%
登録していない	1,294	77.5%
合計	1,670	100%

